

プログラム  
テーマ

現代 GP プログラムは、五つのテーマを基礎として、2004 年度～2006 年度まで、3 年にわたり、プロジェクト活動を推進します。



商工業振興

- 知多半島南端の師崎商工会と協力し、師崎地区マップづくりなど地域商工業の振興施策の調査・研究に取り組みます。
- 半田市・常滑市の商店街と地域振興のため、コミュニティビジネスのあり方を検討します。
- 学生によるまち並みの再発見にとりくみます。

中部国際空港  
Central Japan  
International Airport



国際化

- 2005 年の中部国際空港開港及び万博開催による国際的な交流の活発化を控えて、International studentsとしての留学生の活動には大きな期待が寄せられています。
- 中部国際空港の開港時のトランジット調査、空港利用調査を継続します。



地域文化

- 日本福祉大学知多半島総合研究所による地域の近世海運史研究の成果をふまえ、海の文化、風俗が最も良く伝承されている地域である知多半島南部地域を取り上げ、知多半島の文化の基層をなす“海の文化”について、伝承行事の発掘・記録化・情報発信事業に取り組みます。



観光振興

- 知多半島には醸造業など豊かなものづくりの伝統や自動車産業、エネルギー産業などの蓄積があり、また県内でも有数の農漁業地域でもあります。これらの歴史とゆたかな自然を生かした産業観光振興施策の検討に取り組みます。
- 養護学校、障害者、高齢者のフィールドワーク、旅行などの活性化にむけて受入サイドのニーズ、条件についても検討します。



地域学習

- 地域の課題を学生と住民がともに学びあうことを通じて、地域づくりの最大の基礎である“ひとづくり”に取り組みます。とりわけ、新空港開港にともなう地域住民の学習ニーズの変化などの調査を進めます。